

## 県民大賞 6

団体名	所在地
特定非営利活動法人 見沼ファーム21	さいたま市
<p>●活動紹介</p> <p>見沼田圃の保全運動に関わってきた旧大宮市の市民たちが、「水田を保全する」という目的で、近隣農家の協力を得て、県民参加の米作り体験活動を実施している。</p> <p>①5月の田植えから9月の収穫までの米作り体験を提供。この間、「見沼こめこめ通信」を発行し、情報提供と参加者の交流を図っている。</p> <p>② スタート時の 3,600 m<sup>2</sup>から、現在は7か所約 20,000 m<sup>2</sup>の水田で活動している。毎年約400人の参加者がある。</p> <p>③ 農法は環境共生を目指し、農薬は最小限、有機肥料を使用し体験参加者と共に田の草取り、畦の草刈も人の手で行っている。カブトガニやホウネンエビ、準希少種の水生植物ミズワラビなどが見られるようになった。</p> <p>④ 子どもたちに田圃の生き物とのふれあいやドロンコ遊びが出来る”ドロンコ田圃”を作っている。</p> <p>⑤ 夏に水田と畑、市街地、住宅地、の朝、昼、夜の気温と湿度を4日間実測。専門家の指導を得ながら、水田の持つ気温低下効果について調査活動を実施した。</p> <p style="text-align: right;">構成員数 50人</p>	



①見沼たんぼで米作り体験活動を実施



②田の中に入って草取り



③新都心を遠望する見沼たんぼ



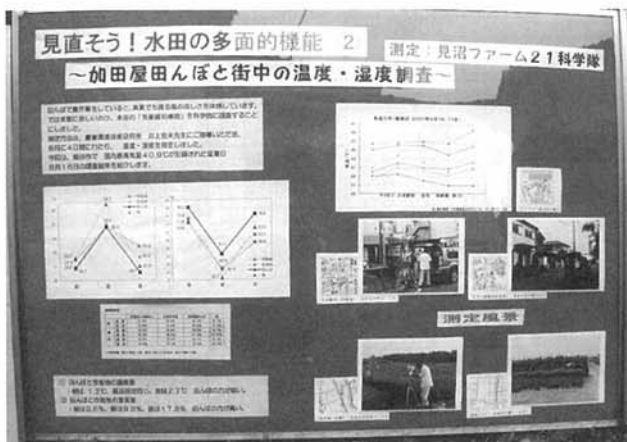
④子どもたちがどろんこ遊びできる場も設置



⑤水田の気温を測ってみた



⑥みんなで稲刈り



⑦さいたま市みどりの祭典で水田の多面的な機能についてパネル展示



⑧刈った稲を天日干し